

ワクチン接種が進み、行動制限が緩和される方向に進みつつある今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。皆さまと株式会社アクロスをつなぐコミュニケーションマガジン「ACROSS LETTER 第23号」をお届けします。今号は新しい技術の活用や次世代の活動について書いています。次号は冬(1月)の予定です。

## 最近の大規模修繕工事情

### ドローンによる赤外線調査について

最近では、ドローンを使ったさまざまな試みがなされています。そのひとつに、ドローンによる赤外線外壁点検があります。**点検する対象をドローンで空撮して点検する方法**です。従来は作業員が実際に打診していた作業をドローンに置き換えます。この方法では、足場やドローン以外の機材を用意する必要がないため、**費用や時間を短縮**できます。メリットだけでなくデメリットもありますが、高層部も安全に点検することができます。



#### メリット

- ・安全な外壁点検  
(人の落下の危険性がない)
- ・広範囲の点検を短時間でできる
- ・点検記録(静止画・動画)の保存

#### デメリット

- ・非接触調査のみ(打診できない)
- ・天候によって左右される(雨と風は不可)
- ・点検対象の建物の立地に左右される  
(許可が必要な場合がある)



一般社団法人マンション改修設計コンサルタント協会(MCA)と一般社団法人ドローン赤外線調査普及協会(DISPA)との共催の講習会を受講しました。



ドローン赤外線外壁調査講習会  
開催日: 2021年8月23日  
DISPA:  
摂南大学理工学部名誉教授 岩田氏  
参加人数: 34名

ドローン調査の実技やドローン飛行経験を実施し、実際の調査や報告内容について多くの質疑応答が行われました。MCA関西支部長の下門杉廣(弊社社長)やアクロス社員も2名参加致しました。

「近年はマンション改修スパンの長期化・長寿命化が求められており、ドローンを用いた赤外線調査が定期検査などで力を発揮するはずだ。この講習会で知識を身に付け、実践に生かしてもらいたい」(建通新聞2021年8月26日掲載の下門支部長の挨拶)

(文・下門雅士)

## 最近のアクロス事情

### NEXT会をご紹介します。

〈NEXT会〉次世代を担うであろう世代のメンバーで構成されたグループ活動



#### ■テーマ

- ・メンバーやスタッフが視野を広く持ち、お互いを尊重し団結する。
- ・目標に向かって会社や個人がより良くなる事を考えチャレンジする。

#### ■活動内容及び取り組み

- ① 社内で改善できる議題を設けてグループワークやグループディスカッションを行い、取り纏めた内容について経営企画会議に上程している。
- ② 新たな取り組みについて協議し実行する。
- ③ 社内交流のためのイベント開催やサークル活動、外部研修を企画する。



#### ■具体例(直近の活動)

- ① 資格更新費用の会社補助を導入
- ② 作業着のリニューアル及びコストダウン
- ③ 有給休暇の取得推進を加速
- ④ 新入社員の為のマニュアル更新、トレーニングログの作成、新人外部研修の実施
- ⑤ 希望者を募り魚釣りやお花見を実施
- ⑥ 心と身体の健康を推進し、健康経営優良法人の取得を目指している

普段の業務とは別に個人および会社の成長や環境整備を提案し、持続可能な取り組みを実践していきたいと考えています。

(文・酒井)

## あとがき

酒井です。吹き抜ける秋風が心地よい季節となりました。しかしながら、コロナ感染予防のため懇親会や歓迎会などは自粛しており、専ら食欲の秋は自宅で楽しむことしか出来ておらず、我慢が強いられております。そんな中、社内の一部の人たちの間で「ポパイ鍋」が流行しています。生姜とニンニクを入れた水炊き鍋で、ほうれん草と豚肉をポン酢で食べる鍋です。メは鶏がらスープで味付けし、中華麺を投入して食べるラーメンが最高に美味しい。子供から大人まで美味しく食べられる鍋料理を、この自粛期間中には是非自宅で挑戦してみてください。



ACROSS LETTER発行人 下門(雅士)、酒井 info@across21c.co.jp